



R7年 5月
市野谷つばさ保育園

新年度がスタートして1ヵ月が経ちました。子どもたちも少しずつ園での生活に慣れてきたようで、それぞれお気に入りの場所やお気に入りの玩具で遊んだり、笑顔もたくさん見られるようになりました。

つばさ保育園では園全体で1年のテーマを決め、テーマに沿って子どもたちの興味・関心を引き出せるような活動や環境作りを行っています。

今年度は昨年度までの『流山を知ろう』をさらに深掘りし、『**私たちの街、流山で働く人を知ろう！**』です。

私たちが住んでいる流山について興味関心を深めていけるよう、保育の中で子どもたちと一緒に取り組んでいきたいと思います。是非お家の方も子どもたちと一緒に流山の職業について一緒に知っていたただけると嬉しいです。



2日(金) こどもの日会

7日(水) 乳児身体測定

8日(木) 幼児身体測定

19日(月) お誕生会

21日(水) 避難・消火訓練

22日(木) 尿検査

23日(金) 尿検査予備日

28日(水) 内科検診

※0,1歳児 10:40～、2～幼児 10:30～
開始予定です。

※9:30～開始となります。

★園で撮影した写真について★

昨年度まで園で撮影した写真はホームページにあげてご家庭でダウンロードしていただいていたことが、入園案内にも記載があります通り、今年度より園写真の無償提供は減らし業者への撮影および写真販売に移行していき、来年度以降は完全移行していく予定です。

これにともない、今年度のホームページへの写真のアップは減りますことをご了承ください。撮影におきましては昨年度に引き続き業者(はい！チーズ)に依頼しておりますので、そちらで販売させていただきます。

保護者の皆様にはご負担をお掛けすることも増えてますが、よろしくお願いいたします。

歯科検診を終えて

今年度初めての歯科検診が先日行われました。前回指摘の多かった『過蓋咬合(かがいこうごう)』が、今回も一番多く、先生からお話を伺いました。

過蓋咬合とは、噛み合わせた時に上の前歯が下の前歯を覆い隠してしまう歯並びの状態です。噛み合わせが深すぎて、下の歯がほとんど見えない状態を指します。主な原因として考えられるのは、**骨格性の要因(遺伝)、食いしぼり、頬杖をつく、うつぶせ寝**などさまざまなことが考えられます。この噛み合わせがどのような影響が出るかというと、下の前歯の歯並びを悪くする、下前歯が上の歯肉を噛みこんでしまう、口が開いてしまい出っ歯に繋がったり、横に歯が広がらなくなるために舌の位置が沈み込み低位置になることで上顎前歯の歯列が悪くなることもあります。また唇をかむ癖がついてしまったり、それによる下唇下のくぼみや短顔に繋がることもあるようです。

こうなると歯医者での矯正治療も必要となってくるのですが、今はまだ未就学時の子どもたちなので、お家や保育園で楽しみながらできる予防策でこれらのリスクを下げたいものです。先生に伺った対応策をいくつか紹介します！

★前歯合わせ(真ん中) トレーニングやチューイングブラシといった器具を使う。

★風船を膨らませたり昔ながらのふきもどしの玩具、ストロー吸いやシャボン玉などで口を閉じて鼻で息をし、お口ポカントレーニングにする。

★あいうべ体操で口回りの筋力アップや舌の動きを強化していく。

★舌上げトレーニングで下の正しい位置を意識し、食いしぼりなどの予防。

この他にも普段から正しい姿勢を保つことも顎や歯の発育には大切とのこと。